

# 減価償却制度の概要

○ 減価償却とは、固定資産が長期にわたって収益を生み出す源泉であり、その取得に要した金額が将来の収益に対する費用の一括前払の性質を有することに鑑み、その使用又は時間の経過に応じて徐々に費用化する仕組み。その方法として、主に、以下の二つがある。

- ・「定額法」(毎期均等額の減価償却費を計上)・・・ 減価償却資産が概ね均等に使用されている場合に適合する方法
- ・「定率法」(毎期首の未償却残高に一定率を乗じた減価償却費を計上)・・・ 初期段階での生産性が高い減価償却資産に適合する方法

## 主な資産の減価償却方法

(1) 「建物」、「建物附属設備」、「構築物」	「定額法」
(2) 「船舶」、「航空機」、「車両運搬具」、「機械装置」、「工具」、「器具備品」	「定額法」 or 「定率法」
(3) 「鉱業用減価償却資産」 ① 建物、建物附属設備、構築物 ② ①以外のもの	① 「定額法」 or 「生産高比例法」 ② 「定率法」 or 「生産高比例法」
(4) 「無形固定資産」、「生物」	「定額法」
(5) 「鉱業権」	「定額法」 or 「生産高比例法」

未償却残高

